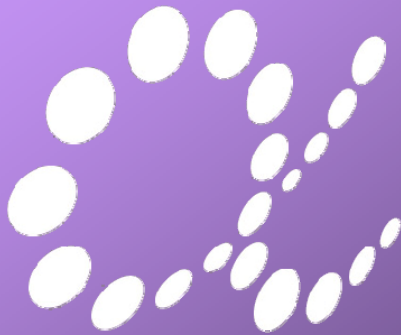


# 第2期 決算説明会

アルファホールディングス株式会社



2009年3月4日

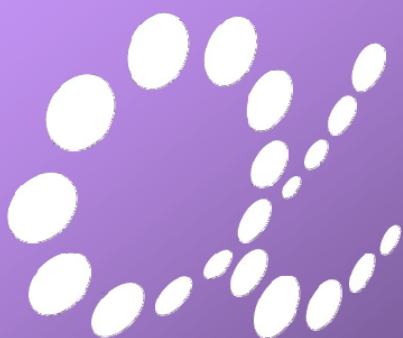


## 目次

---

- 1.グループ概要
- 2.第2期 通期連結業績
- 3.第3期 連結業績予想
- 4.参考資料:マーケット概況

# グループ概要



## 会社概要

(2008年12月末現在)

商号	アルファホールディングス株式会社 (JASDAQ 6633) 以下「αHD」と表現		
事業内容	金型製造用CAD/CAMシステム事業および金型製造事業を営む傘下子会社からなるグループの経営管理ならびにそれに付帯する業務		
本店所在地	東京都渋谷区恵比寿一丁目19番15号		
設立年月日	2007年7月2日	決算期	12月末日
資本金	5億円	発行済株式総数	(普通株式) 12,120,779株
純資産	34億65百万円	総資産	56億68百万円
主要株主	株式会社アーク、株式会社エムワイ企画、山口修司、日本生命相互会社、アルファホールディングス従業員持株会、株式会社トール社、竹田和平、柏木雅浩、西日本シティ銀行、兼松ケージーケイ		
役員構成	代表取締役会長	山口 修司	(CE 代表取締役社長)
	代表取締役社長	西野 直之	(GP 代表取締役社長)
	取締役	塩田 聖一	(CE 専務取締役)
	取締役	寺崎 和彦	(GP 取締役)
	取締役	九鬼 祐一郎	(ARRK 常務取締役)
	常勤監査役	佐藤 淳	(GP 監査役)
	常勤監査役(社外)	山田 英雄	
	監査役(社外)	笹長 正	(ARRK 常勤監査役)



## 主要2社の概要 (GP子会社は除く)

商号	コンピュータエンジニアリング株式会社 以下「CE」と表現	株式会社グラフィックプロダクツ 以下「GP」と表現
事業内容	FA分野における ソフトウェア・ハードウェアの開発・販売	金型設計製造システムの開発・販売・サポート
設立年月日	1978年11月	1981年2月
本店所在地	福岡県北九州市八幡西区引野一丁目5番15号	東京都渋谷区恵比寿一丁目19番15号
代表者	代表取締役社長 山口 修司	代表取締役社長 西野 直之
従業員数	118人 (2008年12月末現在)	121人 (2008年12月末現在、単体)
主要顧客セグメント	プレス金型メーカー	モールド金型メーカー
国内ユーザー数	3,500社	2,600社
モデルデータ構造	2次元	3次元
対象工程	設計(CAD)	加工(CAM)

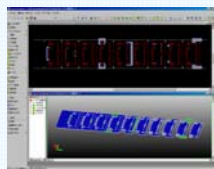
5



## CE製品

### EXCESS HYBRID

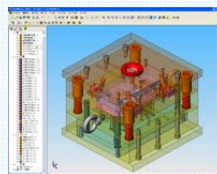
金型用2次元・3次元融合  
CAD/CAMシステム



金型業界の2次元スタンダードであるエクセスシリーズの「優れた操作性」と「高度な専門性」に、「3次元の視認性」を取り入れた、ハイブリッドモデルの2次元・3次元融合型CAD/CAMシステム。

### NEO SOLID

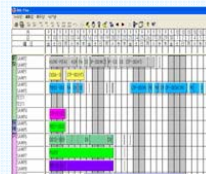
金型用3次元統合  
CAD/CAMシステム



「SolidWorks」に金型専用モジュールを組み込むことにより、金型立体設計～図面作成、さらに立体モデル～NCデータ作成までを完全フォローするオールインワンモデルの3次元統合型CAD/CAMシステム。

### A IQ

金型用  
工程管理システム



CADの設計情報と工程計画を連携させることにより、計画立案、実績収集、原価計算までをフォローし、進捗と実績の「見える化」を推進する、CAD/CAM連携型の金型用工程管理システム。

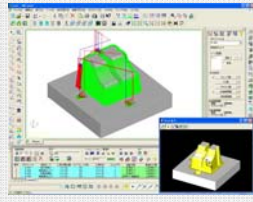
6

## GP製品

### tools **V3**

#### 高速・高精度 金型用ハイエンド CAD/CAMシステム

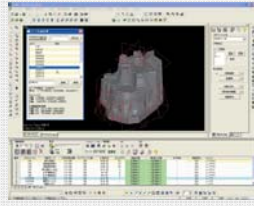
高度なサーフェスマネージング機能を持ち、初心者から熟練者まで幅広い層CAD/CAMオペレータのニーズに応えるハイエンドCAD/CAMシステム。



### tools **MX**

#### 同時5軸対応 高精度・高効率化を 実現するCAMシステム

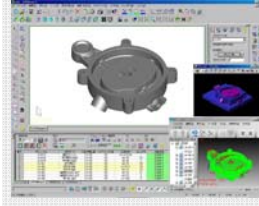
当社独自のアルゴリズムによる先行制御を施し滑らかな動作を実現。「同時3軸加工パス」の持つ高精度を同時5軸加工においても発揮します。



### tools **PARTS**

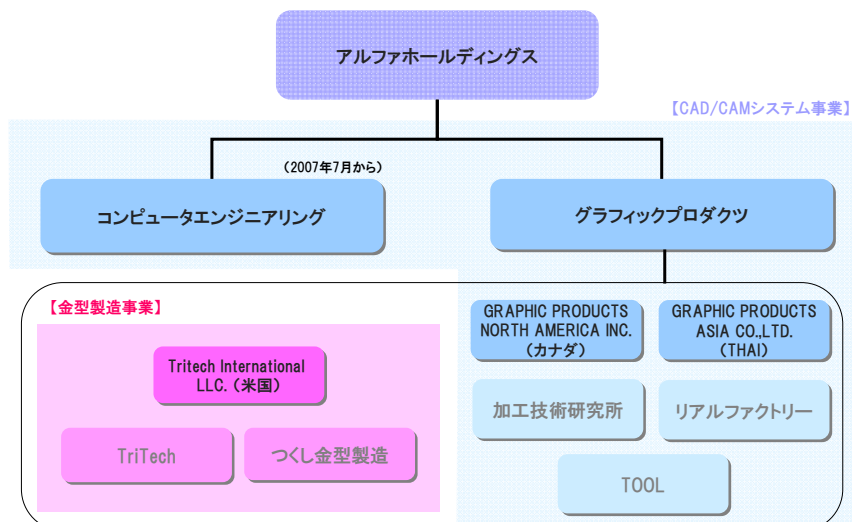
#### 位置決め5軸対応 部品加工用 CAMシステム

部品加工に必要なポケット加工・穴加工用の機能を充実。多方向からの加工を必要とする複雑な部品にも対応するCAMシステム。



7

## 第2期 グループ組織図



※主要会社のみを表記し、海外子会社の出資会社であるGRAPHIC PRODUCTS NORTH AMERICA INC(USA) および GP ASSISTING (THAILAND)CO.,LTD.他につきましては、表記を省略しております。

8



## 連結構成

社名	第1期		第2期
	上期	下期	
アルファホールディングス	—	●	●
CAD/CAMシステム	コンピュータエンジニアリング	—	●
	グラフィックプロダクツ	●	●
	GRAPHIC PRODUCTS NORTH AMERICA, INC. (カナダ)	●	●
	GRAPHIC PRODUCTS ASIA CO.,LTD.(タイ)	●	●
	加工技術研究所	●	●
	リアルファクトリー	●	●
金型製造	TOOL	●	—
	Tritech International LLC.(米国)	●	●
	TriTech(日本)	●	●
	つくし金型製造	●	—

※主要会社のみを表記し、海外子会社の出資会社であるGRAPHIC PRODUCTS NORTH AMERICA INC(USA) および GP ASSISTING (THAILAND)CO.,LTD.他につきましては、表記を省略しております。

9



## 第1期 トピックス (2008年3月4日説明内容)

### ①CEとGPの経営統合

- ・ GPは6月上場廃止し、7月にαHDとして再上場

### ②CAD/CAM事業に経営資源を集中へ

#### グループ会社の統廃合:7社

赤字の金型製造子会社	2社	つくし金型製造、TriTech
マネージメント効率化	2社	リアルファクトリー、加工技術研究所
シナジー希薄	1社	TOOL

#### 特に大きな特別損失を計上した金型事業2社の整理は、以下の判断による

- ・ 金型製造子会社を「金型製造現場からのニーズを把握し、システムづくりに活かす目的」で設立したが、その後、金型製造会社を数多く有するARRKグループに参画したため、当初の目的が希薄化
- ・ 当社ユーザ領域に参入することによるCAD/CAM販売への影響

### ③これらの結果、第1期の連結業績は

- ・ 売上が前年比12%増の、43億76百万円となるも、特別損失7億81百万円を計上し、当期純利益は△6億39百万円

10



## 第2期 トピックス (2008年3月4日説明内容)

### グループ会社の統廃合を終え、黒字会社だけの企業集団へ

- 本業のCAD/CAM事業に専念

CE	・2007年12月リリースの、「EXCESS-HYBRID」「AIQ-express」の本格展開
GP	・部品加工分野へ製品投入=tools PARTS (4月) ・同時5軸システムの発表 (展示会JIMTOF:11月)

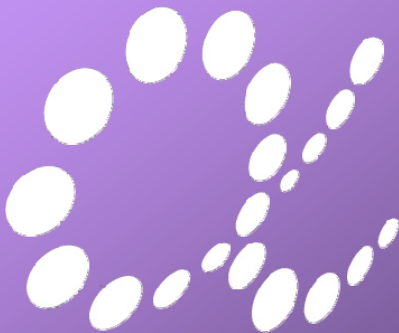
- 海外販売の強化、関連ソリューション事業の育成

- ・アジア地域での販売協力の強化
- ・上海事務所の共同運営も含め、中国における販売およびサポートの強化
- ・共同チームでの開発受託にも注力

### 第2期は、黒字転換へ

- 売上高48億円(9.7%増)、営業利益2億28百万円、  
経常利益2億50百万円、当期純利益1億20百万円を目指す。

## 第2期 通期連結業績

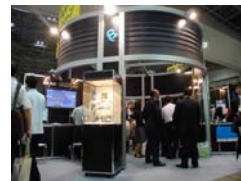




## 第2期 トピックス(CE)

### 主な拡販活動

- (国内) ✓「設計製造ソリューション展(東京)」出展(6月)
- ✓「関西 設計製造ソリューション展(大阪)」出展(10月)
- (海外) ✓中国:大連・深圳・上海セミナー(3~5月)
- ✓中国:「Bluenet 華南日系製造業フォーラム2008」参加(8月)
- ✓ベトナム:「MTA Vietnam 2008」参加(9月)



### 研究開発活動

- ・金型周辺分野での研究開発活動を継続して実施
  - ✓金型の知能化による金属プレス加工の不良レス化
  - ✓非接触オンマシンナノ計測式自動補正型次世代研削システム など

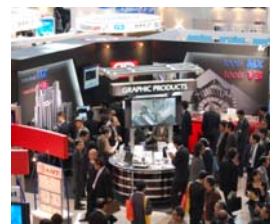
13



## 第2期 トピックス(GP)

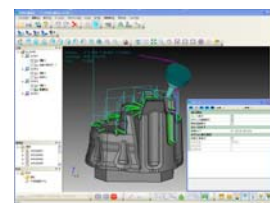
### 主な拡販活動

- (国内) ✓「INTERMOLD 2008(大阪)」出展(4月)
- ✓「JIMTOF2008」出展(10月)
- (海外) ✓中国:「Die & Mould China」出展(5月)



### 研究開発活動

- ・2つの新製品をリリース
  - ✓ tools **PARTS**  
(5軸位置決め対応 部品加工用CAMシステム)(4月)
  - ✓ tools **MX** 同時5軸加工モジュール(12月)



14



## 第2期 決算概要

- 第2期はソフトウェア最新バージョン・新製品の投入や、イベントなどを通じた活発な販促活動を行ない新規顧客獲得に注力しました。
- しかし景気減速の影響により金型メーカーの設備投資マインドが極めて低調に。その結果、第4四半期の業績が大幅に悪化し、売上高は41億32百万円にとどまりました。
- 前述の業績悪化および、棚卸資産の評価に関する会計基準による棚卸資産の売上原価振替などが影響し、営業損失8百万円、経常損失11百万円となりました。
- CEのれん減損損失により6億41百万円の特別損失が発生、当期純損失は5億3百万円となりました。

15



## CE のれん減損

2009年2月20日、CEののれん減損を発表

	勘定科目	金額
連結決算	減損損失	641百万円
個別決算	子会社株式評価損	842百万円

のれんの償却額と残額

	償却額	残額
2007年7月	—	866百万円(取得価額)
2007年12月	43百万円	823百万円
2008年12月	86百万円 641百万円(減損)	95百万円
2009年12月以降	11百万円	84百万円

16





## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	2008年 通期決算 実績	2008年 8/20発表 予想	対8/20予想比		対8/20予想比 主な内訳
			増減額	増減率	
売上高	4,132	4,500	△367	△8.2%	Q4のCAD/CAMシステム販売の 落ち込みにより減収
売上原価	1,232	1,340	△107	△8.0%	減収に伴い売上原価減少△107
販管費	2,908	2,925	△17	△0.6%	貸倒引当金+29、事務所原状回復費+6、 人件費△60
営業利益	△8	234	△242	—	減収の影響により△242
経常利益	△11	236	△247	—	減収の影響により△247
当期純利益	△503	189	△692	—	のれん減損損失により△692

17



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	2008年 通期決算 実績	2007年 通期決算 実績	対前年同期比		対前年同期比 主な内訳
			増減額	増減率	
売上高	4,132	4,376	△244	△5.6%	Q4のCAD/CAMシステム販売の 落ち込みにより減収
売上原価	1,232	1,551	△319	△20.6%	減収に加え、 金型製造事業の連結除外により△319
販管費	2,908	2,885	+22	+0.8%	GP販管費抑制により△228、 CEフル連結により+530、 TOOL連結除外により△246
営業利益	△8	△60	+52	—	
経常利益	△11	△44	+32	—	営業外費用(株式交付費)33が減少
当期純利益	△503	△639	+136	—	

18



## 連結セグメント売上（会社所在地別）

（単位：百万円）

科目	2008年 通期決算 実績	2007年 通期決算 実績	対前年同期比		対前年同期比 主な内訳
			増減額	増減率	
CAD/CAM事業	3,672	3,601	+71	+2.0%	
国内(CE、GP)	3,530	3,333	+197	+5.9%	CEフル連結により+847、TOOL連結除外により△443、GP売上減により△195
北米(GP CANADA)	55	113	△57	△51.0%	GP CANADA売上減により△57
アジア(GP ASIA)	86	154	△67	△43.9%	GPAC売上減により△67
金型製造事業	459	775	△315	△40.7%	
国内(つくし、TriTech)	—	223	△223	—	つくし金型製造解散により△29、TriTech株式譲渡により△193
北米(Tritech LLC)	459	552	△92	△16.8%	ドル建てでは売上増ながら、為替の影響により円建てで売上減△92
合計	4,132	4,376	△244	△5.6%	

※売上高は、内部取引等相殺後の数値を合計しております。

19



## 連結セグメント営業利益（会社所在地別）

（単位：百万円）

科目	2008年 通期決算 実績	2007年 通期決算 実績	対前年同期比		対前年同期比 主な内訳
			増減額	増減率	
CAD/CAM事業	41	65	△24	△36.5%	
国内(CE、GP)	47	46	+0	+0.5%	GP販管費抑制により+76、CE減収により△33、TOOL連結除外により△31
北米(GP CANADA)	△6	△1	△5	—	売上減に加え販管費9.7ポイント増加で営業損失増加
アジア(GP ASIA)	1	20	△19	△95.0%	売上減に加え売上原価4.2ポイント、販管費7.6ポイント増加
金型製造事業	34	△92	+127	—	
国内(つくし、TriTech)	0	△137	+138	—	つくし金型製造解散により+88、TriTech株式譲渡により+49
北米(Tritech LLC)	34	45	△10	△24.0%	ドル建てでは売上増ながら為替の影響で円建てで売上減。売上原価△1.3ポイント、販管費+2.0ポイント
〔内部取引およびのれん償却〕	△85	△33	△51	—	
合計	△8	△60	+52	—	

※営業利益は、内部取引等相殺前の数値であり、(内部取引およびのれん償却)の行ですべて調整しております。

20



## 連結セグメント売上（仕向地別）

（単位：百万円）

科目	2008年 通期決算 実績	2007年 通期決算 実績	対前年同期比		対前年同期比 主な内訳
			増減額	増減率	
CAD/CAM事業	3,672	3,601	+71	+2.0%	
国内	3,285	3,092	+193	+6.3%	CEフル連結により+786、TOOL連結除外により△402、GPの売上減△179
北米	56	120	△63	△52.8%	GP CANADA売上減により△57、TOOL連結除外により△7
アジア	323	377	△54	△14.4%	GPAC△67、TOOL連結除外により△25、GP△20、CE+59
その他	6	10	△3	△38.8%	GP+3、TOOL連結除外により△8
金型製造事業	459	775	△315	△40.7%	
国内	—	223	△223	—	つくし金型製造の解散により△29、TriTechの株式譲渡により△193
北米	459	552	△92	△16.8%	ドル建てでは売上増ながら為替の影響で円建てで△92
売上高合計	4,132	4,376	△244	△5.6%	

21



## 連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	2008年 通期 実績	2007年 通期 実績	前期末比 増減額	対前年同期比 主な内訳
固定資産	1,715	2,311	△596	
資産合計	5,668	6,801	△1,132	
流動負債	1,529	1,878	△349	短期借入金+89、その他に含まれる未払金△200、買掛金△74、賞与引当金△48、前受金△66
固定負債	673	717	△43	繰延税金負債△80、債務保証損失引当金+26
負債合計	2,202	2,595	△392	
株主資本	3,454	4,147	△693	利益剰余金△607
評価・換算差額等	△21	9	△30	
少数株主持分	32	49	△16	
純資産合計	3,465	4,205	△739	
負債純資産合計	5,668	6,801	△1,132	

22



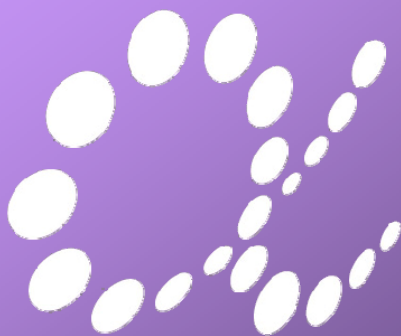
## 連結キャッシュ・フロー表

(単位:百万円)

科目	2008年 通期 実績	2007年 通期 実績	対前年 増減額	2008年通期 主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	182	△193	+375	税金等調整前当期純利益△573、 減損損失641、売上債権の減少額225、 未払金の減少額△142
投資活動による キャッシュ・フロー	727	△387	+1,115	短期貸付金の回収805、 その他投資の処分88、 有形固定資産の取得△41、 投資有価証券の取得△105
財務活動による キャッシュ・フロー	△154	△667	+513	短期借入金の純増額131、 配当金の支払額△233、 自己株式の取得による支出△31
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△58	3	△61	
現金及び 現金同等物の増減	696	△1,245	+1,942	
連結範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の減少額	—	△243	+243	
現金及び 現金同等物の期末残高	2,929	2,232	+696	

23

## 第3期 通期業績予想





## 第3期 通期見通し

### 2009年の状況

- 世界的な最終製品の減産の影響を受け、金型製造業においても設備投資の凍結や時期を見送りする動きが広がっており、足元の環境は極めて厳しいものと予想

### 第3期 通期見通しは

- 売上高39億円、営業利益26百万円、経常利益46百万円、当期純利益25百万円

25



## 第3期の取り組み<1>

- 中長期的に持続的成長を実現するための技術開発力を強化
- グループ全体で積極的な営業提案を実施し、収益の向上を目指す

### 【製品開発】

既存製品 適用範囲の拡大・操作性の向上

新規開発

- CE・GPのシナジー創出に向けた体制を強化
- CADメーカー、機械メーカー、工具メーカーなど外部との連携により金型周辺市場への進出を目指す

### 【営業政策】 地域密着型でこまやかな営業提案を実施

- CE**
  - 事業部制を採用、スピーディかつ、きめ細やかな戦略立案と実行を目指す
  - 新規販売チャネルの拡充
- GP**
  - 従来販売チャネルとの連携の強化
  - 担当エリアの細分化・明確化し、顧客サービスの向上につなげる
  - 「INTERMOLD 2009(東京)」出展(4月)

26



## 第3期の取り組み<2>

- 中長期的に持続的成長を実現するための技術開発力を強化
- グループ全体で積極的な営業提案を実施し、収益の向上を目指す

【保守販売政策】 顧客データベースや営業支援システムを活用、  
充実したサービスの提供と営業プロセスの効率化を図る

CE •営業支援の専属チームの立ち上げ。状況に応じ全国展開

GP •特に重要顧客に対して重点的に加入継続を提案、  
保守売上に貢献

27



## 第3期 連結業績予想

(単位:百万円)

科目	第3期 連結業績予想		第2期 連結業績	対前年同期比	
	2009年 2月20日 予想	構成比		増減額	増減率
売上高	3,900	100.0%	4,132	△231	△5.6%
営業利益	26	0.7%	△8	+35	—
経常利益	46	1.2%	△11	+58	—
当期純利益	25	0.7%	△503	+529	—

28



## 連結セグメント業績予想（会社所在地別）

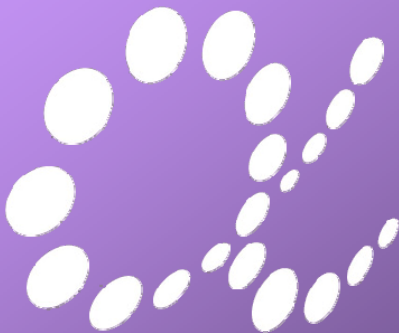
（単位：百万円）

科目	売上高				営業利益			
	2009年 通期決算	2008年 通期決算	対前年同期比		2009年 通期決算	2008年 通期決算	対前年同期比	
	予想	実績	増減額	増減率	予想	実績	増減額	増減率
CAD/CAM事業	3,523	3,672	△149	△4.1%	25	41	△16	△39.9%
国内(CE、GP)	3,354	3,530	△175	△5.0%	28	47	△18	△40.0%
北米(GP CANADA)	53	55	△2	△4.7%	△3	△6	+2	—
アジア(GP ASIA)	115	86	+29	+33.5%	0	1	△0	△67.0%
金型製造事業	377	459	△81	△17.8%	12	34	△22	△63.4%
国内(つくし、TriTech)	—	—	—	—	—	0	△0	—
北米(Tritech LLC)	377	459	△81	△17.8%	12	34	△21	△63.1%
〔内部取引および のれん償却〕					△11	△85	+73	—
合計	3,900	4,132	△231	△5.6%	26	△8	+35	—

※売上高は、内部取引相殺後の数値を合計しております。

※営業利益は、内部取引相殺前の数値であり、(内部取引およびのれん償却)の行ですべて調整しております。

## 参考資料：マーケット概況





## 金型設計用CAD/CAMメーカー別集計

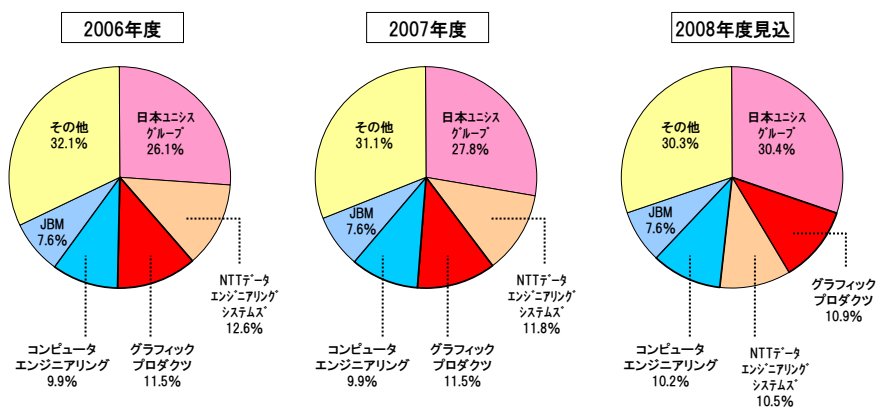
システムメーカー名	2006年度	2007年度	前年比	2008年度見込	前年比
日本ユニシスグループ	4,037	4,400	109%	5,280	120%
NTTデータ エンジニアリングシステムズ	1,950	1,860	95%	1,820	98%
グラフィックプロダクツ	1,780	1,825	103%	1,900	104%
コンピュータエンジニアリング	1,529	1,560	102%	1,770	113%
JBM	1,200	1,250	104%	1,350	108%
セイロジャパン	790	810	103%	820	101%
丸紅情報システムズ	800	750	94%	800	107%
ヴェロ・ジャパン	700	740	106%	790	107%
三菱電機 マイクロシステムウェア	621	613	99%	654	107%
セスクワ	580	530	91%	480	91%
ゼネテック	400	410	103%	430	105%
OpenMind	310	400	129%	500	125%
Delcam	380	350	92%	350	100%
トヨタケーラム	232	211	95%	360	163%
アルゴグラフィックス	140	100	71%	80	80%
合計	15,449	15,819	102%	17,384	110%

※ハードウェア売上を含まず 出所:矢野経済研究所

31



## 金型設計用メーカー別シェア



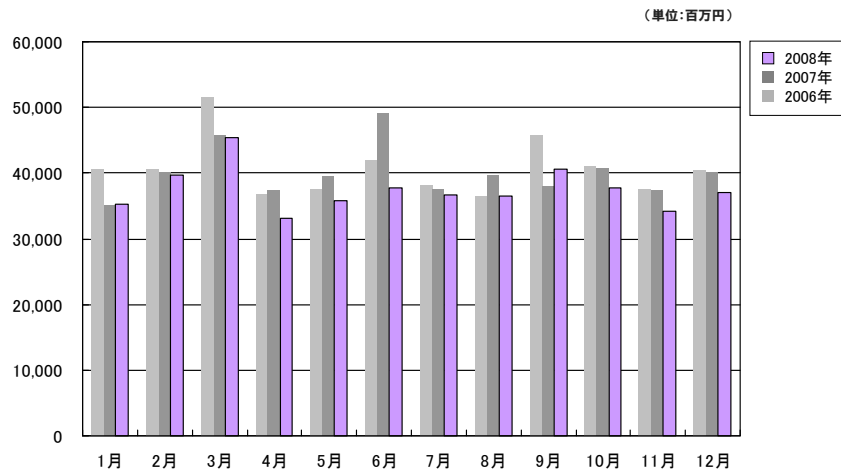
※ハードウェア売上を含まず 出所:矢野経済研究所

32





## 国内金型生産額

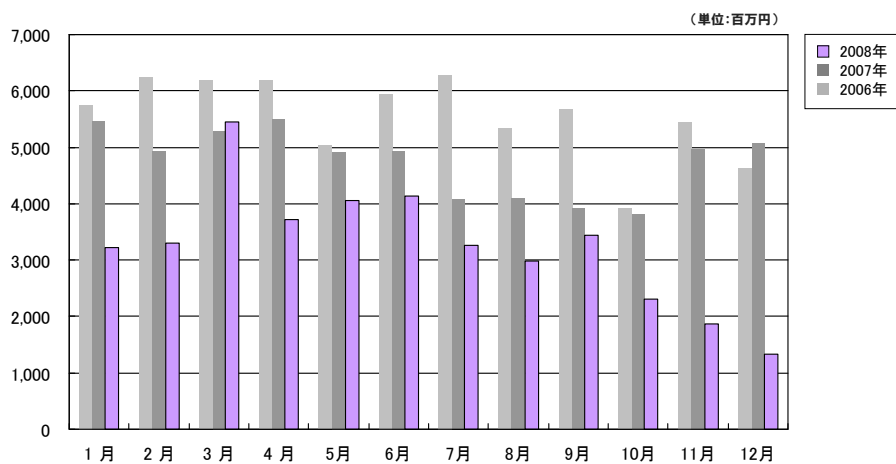


出所:機械統計  
※本調査は従業員数20名以上の企業が対象、約600社が参加

33



## 工作機械受注統計[金型向け](日本メーカー)

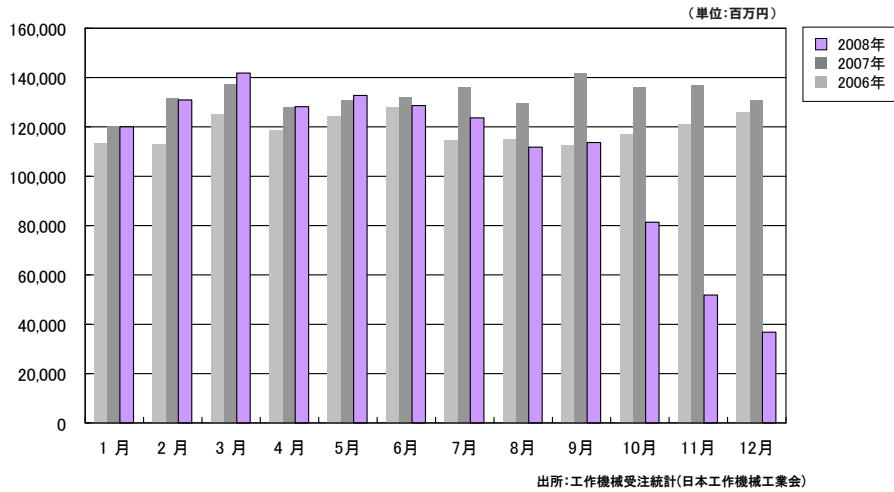


出所:工作機械受注統計(日本工作機械工業会)

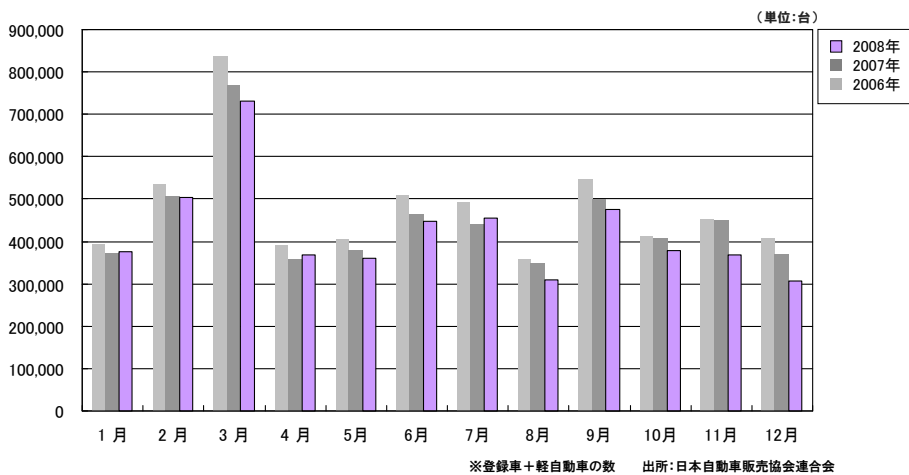
34



## 工作機械受注統計(日本メーカー)



## 国内新車販売台数





本誌記載のデータは各種の情報源から入手したのですが、  
その正確性を保証するものではありません。

また業績予想は、2009年3月4日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、  
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(お問合せ先)

アルファホールディングス株式会社

広報室

Tel : 03-5793-8800

E-mail : [alpha-koho@alpha-holdings.co.jp](mailto:alpha-koho@alpha-holdings.co.jp)